

PPIHグループのサステナビリティ

■ PPIHグループ サステナビリティ基本方針

PPIHグループは、企業原理「顧客最優先主義」のもと、地域のお客さまの暮らしを支え、お買い物の楽しさを提供することを第一に、本業の総合小売業の事業活動を通じて環境・社会における重要課題(マテリアリティ)の解決に取り組んでいます。ステークホルダーと対話を重ねながら、持続可能な社会の実現と中長期的な企業価値の向上の両立をめざします。

■ マテリアリティ

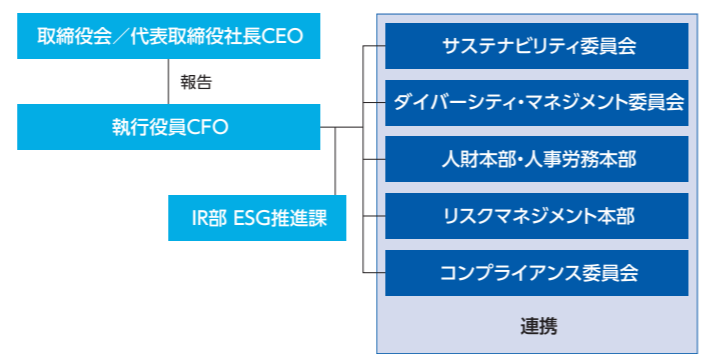
中長期経営計画「Visionary 2025/2030」策定時に、当社グループのステークホルダーにとっての期待・重要性和、当社グループの強みを活かして解決に貢献できる社会課題について議論し、持続可能な社会と企業の実現に向けた重要課題(マテリアリティ)を改めて特定しました。

事業活動で生じる環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動への対応 CO₂排出量の削減 プラスチック使用量の削減 環境配慮商品の拡大
多様性の容認と働きがいのある職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> 女性活躍推進 LGBTQ+の活躍支援 従業員エンゲージメントを高める労働環境の整備
持続可能な商品調達と責任ある販売	<ul style="list-style-type: none"> 人権・環境に配慮したサプライチェーン・マネジメント アルコール類の責任ある販売 社会・環境課題の解決をめざす認証商品の拡大
地域社会との共生による社会課題の解決	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会への寄付・募金・貢献活動 次世代育成・支援活動
確固たるガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> 経営の透明性の確保 企業理念の遵守と監督 コンプライアンスの徹底 自然災害リスクへの対応

■ 推進体制

サステナビリティの取り組みを推進する各施策は、担当役員である執行役員CFOのもと、各領域の委員会及び管掌本部が企画・立案し、グループ会社の事業活動に反映しています。

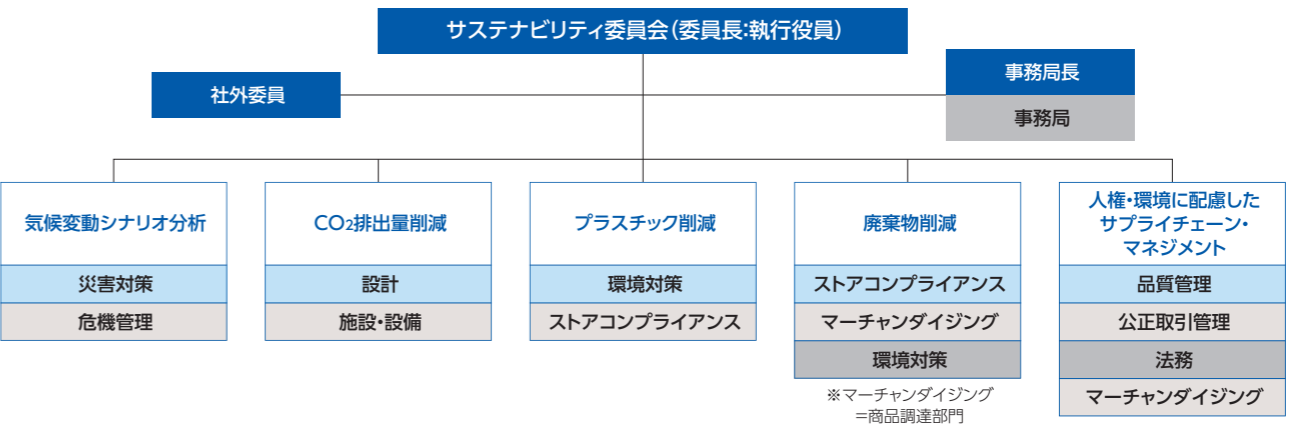
また、月に1回各委員会の委員長が集まり、取り組み進捗状況や情報共有、意思決定(推進会議)を行い、さらに定期的に取締役会で活動報告を行い、方針及び目標の策定や重要な取り組みについては取締役会で議論され承認を得て実行しています。



主要な委員会の紹介

■ サステナビリティ委員会

サステナビリティ委員会は、リスクマネジメント管掌執行役員を委員長におき、月に1回開催しています。気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の対応や、CO₂排出量の削減、人権・環境に配慮したサプライチェーン・マネジメントの構築、プラスチック及び廃棄物削減に取り組んでいます。本委員会の下部組織としてテーマごとに分科会を設置し、具体的な施策について企画・立案し事業活動に反映させるとともに、サステナビリティ経営の専門的な知見を有する社外委員の冨田秀実氏と定期会合を月に1回実施し、特定の課題に対して専門的観点をもって取り組むことができる体制で推進しています。



執行役員
リスクマネジメント管掌
テナント賃貸事業統括副責任者
早川 馨爾

サステナビリティ委員会が発足して約2年がたちました。まずは現状のリスクや課題を把握し、目標を定めるところからスタートしましたが、今期はそれらに基づく具体的な取り組みが少しずつ始まり、形になってきました。社内でもサステナビリティに関する意識が徐々に浸透してきており、社会や環境の視点と企業の成長がトレードオフではなく、ANDになるアイデアが従業員から生まれてきています。時には、お客さまの環境・社会意識の変容につながる取り組みを実施していくことも、小売業としてお客さまの一番身近な存在である私たちには必要なことと考えています。今後も、様々なステークホルダーと対話を重ねながら、当社らしいドラスティックな取り組みを、手を緩めず実施してまいります。

■ ダイバーシティ・マネジメント委員会

ダイバーシティ・マネジメント委員会は、ダイバーシティ・マネジメントを管掌する取締役兼執行役員を委員長におき、月に1回開催しています。人事制度企画部や労務管理部、リクルーティングマネジメント部等の複数の関連部署が横断的に連携しながら女性やLGBTQ+など多様な人財の活躍をめざし、様々な施策を企画・立案し、実行しています。



取締役 兼 執行役員
ダイバーシティ・マネジメント管掌
デザイン統括責任者
二宮 仁美

PPIHグループの店舗は、年間6億人を超えるお客さまにご利用いただいています。多種多様な価値観をもつお客さまにご満足いただき、選ばれる店舗であり続けてきた当社グループの強みの一つは、女性に限らず、外国人やシニア、LGBTQ+、障がい者など、多様な価値観、個性、背景がある方が多数働かれていることにあります。ダイバーシティ・マネジメント委員会では、このような方々を含め、すべての従業員の皆さんが自分らしく安心して働き、思いきり活躍できる環境になるよう、今後も会社としてさらに色々な制度や仕組みを整えてまいります。